

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（レタス）

地域（標高）	長和町（1300m）
土壌（土性）	火山灰土

項目	生産計画の内容	補足メモ
(1) 品目	レタス（品種：ラプトル）	
(2) 作型名	春～夏播き・露地	
(3) 面積	144 a	
(4) 栽培戸数又は労働力	1人	
(5) 栽培期間	平成26年4月～平成26年11月	
(6) 収穫期間	平成26年6月20日頃～平成26年11月1日頃	
(7) 収穫量	H25実績 74,000 kg（うち出荷量：77,000 kg） H26計画 74,500 kg（うち出荷量：77,900 kg）	

2 栽培方法	(1) 土づくり	土壌診断に基づき肥料設計を実施																																																			
	(2) 播種	平成26年4月10日																																																			
	(3) 育苗期間	平成26年4月10日～7月20日																																																			
	(4) 定植	平成26年5月7日～8月20日																																																			
	(5) 肥培管理	<p>○化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆肥、有機肥料施肥 <p>○技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機肥料が土壌を強くし、生産安定が図れる <p>肥料の施用内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="4">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> <th rowspan="2">加里</th> </tr> <tr> <th colspan="2">うち化学由来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尿素</td> <td>10</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>有機物語684</td> <td>40</td> <td>2.4</td> <td>0</td> <td>3.2</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>有機配合866バツゲン</td> <td>45</td> <td>3.6</td> <td>1.6</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>骨粉</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>鶏ふん</td> <td>120</td> <td>3.6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>255</td> <td>14.2</td> <td>6.2</td> <td>23.9</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>低減率 (%)</td> <td>61.3</td> </tr> </table>	肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)				窒素		リン酸	加里	うち化学由来		尿素	10	4.6	4.6	0	0	有機物語684	40	2.4	0	3.2	1.6	有機配合866バツゲン	45	3.6	1.6	2.7	2.7	骨粉	40	0	0	18	0	鶏ふん	120	3.6	0	0	0	合計	255	14.2	6.2	23.9	4.3	地区慣行施肥量 (kg/10a)	16	低減率 (%)
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																																			
		窒素			リン酸	加里																																															
		うち化学由来																																																			
尿素	10	4.6	4.6	0	0																																																
有機物語684	40	2.4	0	3.2	1.6																																																
有機配合866バツゲン	45	3.6	1.6	2.7	2.7																																																
骨粉	40	0	0	18	0																																																
鶏ふん	120	3.6	0	0	0																																																
合計	255	14.2	6.2	23.9	4.3																																																
地区慣行施肥量 (kg/10a)	16																																																				
低減率 (%)	61.3																																																				

2 栽培方法	(6) 病害虫防除	<p>○化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性フェロモン剤（コナガコンプラス）の設置による害虫防除 ・フェロモントラップによる発生予察 ・除草機械の利用 <p>○技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性フェロモン剤により害虫の交尾を阻害することで、殺虫することなく防除できる。 ・化学合成農薬の代わりに微生物、生菌等カウントされないものを使用する。 <p>病害虫防除の内容（）は6月出荷、無印は7月出荷</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>地域慣行農薬使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殺虫殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">殺菌剤</td> <td>コサイド3000</td> <td>2000倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td rowspan="5">9</td> </tr> <tr> <td>トップジンM水和剤</td> <td>1500倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バリダシン液剤5</td> <td>800倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベジキパー水和剤</td> <td>1000倍</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダコニール1000</td> <td>1000倍</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">殺虫剤</td> <td>ジュリホフロアブル</td> <td>200倍</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td rowspan="5">9</td> </tr> <tr> <td>コテツフロアブル</td> <td>2000倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アトマイヤーフロアブル</td> <td>4000倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コナガコンプラス</td> <td>100本</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フェニックス水和剤</td> <td>2000倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>植調剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>合計</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>削減率 (%)</td> <td>60.0%</td> </tr> </table>		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数	殺虫殺菌剤									殺菌剤	コサイド3000	2000倍	1	1	1	1		9	トップジンM水和剤	1500倍	1	1	1			バリダシン液剤5	800倍	1	1	1	1		ベジキパー水和剤	1000倍	1	2	2	2		ダコニール1000	1000倍	1	2	2			殺虫剤	ジュリホフロアブル	200倍	2	1	2		1	9	コテツフロアブル	2000倍	1	1	1			アトマイヤーフロアブル	4000倍	1	1	1			コナガコンプラス	100本	1	1	1	1		フェニックス水和剤	2000倍	1	1	1			除草剤								1	植調剤													合計	13	5	1	19	農薬の使用回数	8	地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	20	削減率 (%)	60.0%
		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数																																																																																																																						
	殺虫殺菌剤																																																																																																																														
	殺菌剤	コサイド3000	2000倍	1	1	1	1		9																																																																																																																						
		トップジンM水和剤	1500倍	1	1	1																																																																																																																									
バリダシン液剤5		800倍	1	1	1	1																																																																																																																									
ベジキパー水和剤		1000倍	1	2	2	2																																																																																																																									
ダコニール1000		1000倍	1	2	2																																																																																																																										
殺虫剤	ジュリホフロアブル	200倍	2	1	2		1	9																																																																																																																							
	コテツフロアブル	2000倍	1	1	1																																																																																																																										
	アトマイヤーフロアブル	4000倍	1	1	1																																																																																																																										
	コナガコンプラス	100本	1	1	1	1																																																																																																																									
	フェニックス水和剤	2000倍	1	1	1																																																																																																																										
除草剤								1																																																																																																																							
植調剤																																																																																																																															
				合計	13	5	1	19																																																																																																																							
農薬の使用回数	8																																																																																																																														
地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	20																																																																																																																														
削減率 (%)	60.0%																																																																																																																														
(7) 雑草防除	マルチ栽培、手除草																																																																																																																														
(8) 収量の状況	59,600kg																																																																																																																														
(9) その他特記事項																																																																																																																															
3 販売状況	(1) 主な販売地域	県内 近県																																																																																																																													
	(2) 販売方法	JAへ出荷、直売所へ出荷、岐阜県の漬物屋へ直接販売																																																																																																																													
	(3) 県認証の活用方法	直売所の販売コーナーへの認証マークを掲示して消費者へアピールしている。 容器包装へもマークを表示している。																																																																																																																													
	(4) 実需者や消費者の反応、メリット	容器包装類への認証票（マーク）のを表示することで消費者へのアピールが可能。 直売所にて慣行栽培品と区分した販売が可能。																																																																																																																													

